令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

教科	国語	学年	第2学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
虹の足	1	●見えている「虹の足」をとおして，見えていない「虹の足」について考える。	抽象的な概念を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。	すすんで登場人物の言動の意味を考え，今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。
質問する力をつける	1	●伝え合う内容を検討して，よりよい質問をする。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，社会生活の中から話題を決め，異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。	積極的に集めた材料を整理し，学習の見通しをもって話し合おうとしている。
タオル	5	●文学的な表現を通じて語感を磨き，語彙を豊かにする。 ●登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え，作品を解釈する。 ●少年の気持ちの変化を捉え，表現の効果を考える。 ●文学的な表現を通じて語感を磨き，語彙を豊かにする。 ●登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え，作品を解釈する。 ●少年の気持ちの変化を捉え，表現の効果を考える。	抽象的な概念を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，登場人物の設定の仕方などを捉えている。 「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。	すすんで登場人物の設定の仕方を考え，学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

文法の小窓1 活用のない自立語 文法（解説）1 活用のない自立語	2	●活用のない自立語のはたらきを理解する。	単語の活用について理解を深めている。		積極的に活用のない自立語について理解し，学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
新聞の投書を書く	5	●多様な方法で材料を集める。 ●社会生活の中から題材を選んで書く。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている	「書くこと」において，目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，多様な方法で集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。	積極的に情報と情報との関係について理解し，学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
漢字の広場1 まちがえやすい漢字	1	●似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。	第１学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
日本の花火の楽しみ	3	●図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ●説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ●花火の魅力について，筆者の考えを捉え，自分の考えをまとめる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「読むこと」において，文章と図表などを結びつけ，筆者の説明の仕方について，その関係を踏まえて内容を解釈している。 「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や論理の展開，表現の効果について考えてい	粘り強く必要な情報に注目し，学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

行書と仮名を調和させて書いてみよう 「喜びの声」	1	●行書と仮名の調和「喜びの声」 点画の連続と配列を理解して書くことができる。	行書と仮名の調和を理解している。 行書と仮名の調和について確かめながら書いている。 行書と仮名の調和や配列の整え方を理解している。行書と仮名の調和を理解し，行書の筆使いを生かして書いている。	紙面全体の調和を考えて，点画の連続と配列を考えている。 紙面全体の調和を考えて，点画の連続と配列を意識している。	行書と仮名の調和について，自己の課題を見つけようとしている。 行書と仮名の調和における課題解決に向けて，意欲的に取り組んでいる。
水の山　富士山	4	●図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ●説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ●富士山の恵みについて，筆者の考えを捉え，自分の考えをまとめる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている	「読むこと」において，文章と図表などを結びつけ，筆者の説明の仕方について，その関係を踏まえて内容を解釈している。 「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や論理の展開，	粘り強く情報の整理の仕方についての理解を深めるとともに，学習課題にそって創作しようとしている。
説得力のある提案をする	3	●話の構成を効果的に組み立てて話す。 ●根拠の適切さに注意しながら，意見と根拠を分けて話す。	意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している	「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えが明確になるように，根拠の適切さや論理の展開などに注意して，話の構成を工夫している	積極的に自分の考えをまとめ，学習の見通しをもって考えを述べようとしている。
言葉の小窓１ 敬語 言葉（解説）１ 敬語	1	●敬語のはたらきや特徴について知る。	敬語のはたらきについて理解し，話や文章の中で使っている。		粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し，学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている
構成を明確にして手紙を書く	5	●相手に対して適切に言葉を選ぶ。 ●書く内容を整理し，自分の考えをまとめる。	話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 敬語のはたらきについて理解し，文章の中で使っている。	「書くこと」において，伝えたいことがわかりやすく伝わるように，段落相互の関係などを明確にし，文章の構成や展開を工夫している。	積極的に敬語のはたらきについて理解し，学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書こうとしている。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

夢を跳ぶ	3	●自分の課題に応じて資料を探し，さまざまな情報の中から適切なものを選び，自分の考えをまとめる。	本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，主張と例示との関係などを捉えている。　「書くこと」において，目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，多様な方法で集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。	すすんで必要な情報に注目し，学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。
言葉の小窓２ 話し言葉と書き言葉 言葉（解説）２ 話し言葉と書き言葉	1	●話し言葉と書き言葉の，それぞれの特徴を捉える。	話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。		粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し，学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
観点を明確にして伝える	3	●集めた情報を整理して関係を理解し，適切に活用して課題を解決する。 ●図表やグラフ，写真などを用いて，聞き手にわかりやすく伝える。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において，資料や機器を効果的に用いるなどして，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している	積極的に情報と情報との関係について理解し，学習の見通しをもって説明しようとしている。
SNSから自由になるために／脚本で動きを説明する	2	●小説と脚本を構成する情報を整理し，それぞれの効果について考える。 ●小説と脚本の違いを理解し，小説を脚本に書きかえる。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「書くこと」において，目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，多様な方法で集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。「読むこと」において，文章と図表などを結びつけ，その関係を踏まえて内容を解釈している。	すすんで文章を比較するなどし，学習の見通しをもって脚本を創作しようとしている。
行書で書こう 点画の省略「初志」	2	●点画の省略「初志」 点画の省略を理解して書くことができる。	点画の省略を理解している。 点画の省略を理解して書いている。 点画の省略を理解し，字形を整えて書くことを把握している。 点画の変化を理解して，字形を整えて書いている。	点画の省略の書き方を確かめ，自己の課題を考えている。 行書の筆使いの中から自己の課題を見つけ，その解決方法を考えている。	点画の省略の書き方について，課題意識をもって取り組んでいる。 点画の省略の書き方から自己の課題を把握し，その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。

令和６年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

漢字の広場２ 漢字の成り立ち	1	●漢字の成り立ちについての理解を深める。	第１学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き，今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
持続可能な未来を創るために――不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味	3	●持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し，行動する。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えが明確になるように，根拠の適切さや論理の展開などに注意して，話の構成を工夫している. 「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ，自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで文章の構成や論理の展開について考え，学習の見通しをもって議論しようとしている。
紙の建築	5	●事例の役割や効果を確かめながら読む。 ●事例と主張を関連づけて読み，筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。 ●筆者の考えを踏まえ，社会との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，主張と例示との関係を捉えている。　「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ，自分の考えを広げたり深めたりしている。		すすんで文章の構成や論理の展開について考え，学習課題にそって説明しようとしている。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

行書で書こう	2	筆順の変化「深緑」 筆順の変化を理解して書くことができる。	●筆順の変化を理解している。筆順の変化を理解して書いている。 【A】筆順の変化を理解し，字形を整えて書くことを把握している。 筆順の変化を理解して，字形を整えて書いている。	【B】筆順の変化の書き方を確かめ，自己の課題を考えている。 【A】行書の筆使いの中から自己の課題を見つけ，その解決方法を考えている。	【B】筆順の変化の書き方について，課題意識をもって取り組んでいる。 【A】筆順の変化の書き方から，自己の課題を把握し，その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
行書で書こう 学習を生かして書く―行書の特徴―	2	これまでに学習してきた行書の特徴を理解して書くことができる。	【B】これまでに学習した行書の特徴について理解している。これまでに学習した行書の特徴について，自己の課題を理解して書いている。 【A】行書の特徴を知り，点画の変化，連続，省略，筆順の変化を理解し，字形を整えて書くことを把握している。 行書の特徴を知り，点画の変	【B】これまでに学習した行書の特徴から，自己の課題を考えている。 【A】行書学習のまとめとして自己の課題を見つけ，その解決方法を考えている。	【B】これまでに学習した行書の書き方に習熟し，配列よく書こうとしている。 【A】行書学習のまとめとして，行書の特徴の中から自己の課題を把握し，その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
根拠をもとに意見文を書く	5	●多様な考え方がある問題について根拠をもとに推論して考える。 ●考えの理由づけを示して意見文を書く。	意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	積極的に意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解し，学習の見通しをもって，意見を述べる文章を書こうとしている。
文法の小窓２ 活用のある自立語 文法（解説）２ 活用のある自立語	2	●用言の活用と種類・用法を理解する。	単語の活用について理解を深めている。		粘り強く自立語の活用について理解し，学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
敦盛の最期	4	●登場人物の言動や心情について話し合い，作品の理解を深める。 ●文章の特徴を生かして朗読し，物語に親しむ。	歴史的仮名遣いに注意して，作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，登場人物の設定の仕方などを捉えている。	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み，理解したことを話し合いの場で発言している。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

随筆の味わい	3	●古人のものの見方や考え方に対して，自分の考えをもつ。 ●言葉の意味を正確に捉えながら読み，作者の思いを想像する。	現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして，古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	「読むこと」において，古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ，自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み理解したことや考えたことを説明しようとしている。
二千五百年前からのメッセージ	3	●表現を確かめながら，内容について自分の考えをまとめる。 ●文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして，漢文の表現に慣れる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において，古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ，自分の考えを広げたり深めたりしている。	粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み，学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。
行書と仮名を調和させて書いてみよう 「いろは歌」	1	2 行書に調和する仮名「いろは歌」 行書に調和する仮名の筆使い，字形を理解して書くことができる。 「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	【B】行書に調和する仮名の筆使い，字形を理解している。行書に調和する仮名の筆使い，字形を習得しようとしている。 【A】行書に調和する仮名の筆使いを理解し，字形を整えて書くことを把握している。 行書に調和する仮名の書き方を習得して，字形を整えて書いている。	【B】行書に調和する仮名の筆使い，字形について考えている。 【A】行書に調和する仮名の筆使い，字形の特徴について，適切に判断している。	【B】行書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。 【A】自己の課題を設定し，その解決に向けて取り組んでいる。
行書と仮名を調和させて書いてみよう		●文字の大きさと配列 文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	紙面全体の調和を考えて，文字の大きさや配列を理解している。 紙面全体の調和を考えて，文字の大きさや配列を理解して書いている。 紙面全体の調和を考えて，文字の大きさや配列に注意し，調和よく書くことを理解している。 紙面全体の調和を考えて，文	紙面全体の調和を考えて，文字の大きさや配列を考えている。 紙面全体の調和を考えて，文字の大きさや配列を意識している。	紙面全体の調和を考えて，文字の大きさや配列について，自己の課題を見つけようとしている。 紙面全体の調和を考えて，行書と仮名の調和の書き方における自己の課題を設定し，その解決に向けて取り組んでいる。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

坊っちゃん	2	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ，近代の小説や物語を読む。	本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。	すすんで内容を解釈し，複数の情報を整理しながら考えたことを提案しようとしている。
短歌の味わい	2	●情景や心情を掘り起こし，声に出して短歌を読む。	作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。 「書くこと」において，読み手の立場に立って，表現の効果などを確かめて，文章を整えている。	すすんで内容を味わい，今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。
夏の葬列	6	●人物の描写や人称代名詞に着目し，その役割や効果について理解する。 ●時間の順序に留意し，人物の心情の変化や言動の意味について考え，作品を解釈する。 ●作品の構成や展開，表現の効果について考えを深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。「読むこと」において，文章の構成や論理の展開（時間の流れと場面の展開），表現の効果について考えている。	粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え，学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。
映像作品の表現を考える	1	●絵コンテを構成する情報を整理し，それぞれの効果について考える。 ●漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「読むこと」において，目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 「読むこと」において，文章と図表などを結びつけ，その関係を踏まえて内容を解釈している。	積極的に映像作品の表現の特徴について理解し，学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

漢字の広場3 漢字の多義性	1	●漢字の多義性についての理解を深める。	多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。		すすんで漢字の多義性について理解し，今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
ガイアの知性	5	●筆者が用いる語句の意味を捉える。 ●筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 ●自然や知性に対する筆者の考え方について，自分のもつ知識や経験と結びつけ，考えをまとめる。	抽象的な概念を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。 意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，主張と例示との関係を捉えている。 「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ，自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで主張と例示の関係について考え，学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
記事を書く	5	●情報がわかりやすく伝わるように，文章や見せ方を工夫する。	意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において，伝えたいことがわかりやすく伝わるように，段落相互の関係などを明確にし，文章の構成や展開を工夫している。	積極的に情報と情報との関係について理解し，学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。
相違点を明確にして聞く	3	●論理の展開などに注意しながら聞く。 ●話し手の考えと自分の考えを比較したり，質問したりしながら，自分の考えをまとめる。	意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において，論理の展開などに注意して聞き，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。	積極的に情報と情報との関係について理解し，学習の見通しをもって対話しようとしている。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

学ぶ力	4	●筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ●本文の「述べ方」や表現の工夫に着目し，筆者の主張を捉える。 ●本文から捉えたことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけ，考えを広げたり深めたりする。	意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ，自分の考えを広げたり深めたりしている。	今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え，学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
よりよい結論を導く討論をする	4	●結論を導くために，相手の立場に立って推論しながら，意見を述べる。 ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。	抽象的な概念を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において，互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめている。	積極的に情報と情報との関係について理解し，学習の見通しをもって討論しようとしている。
文法の小窓３ 付属語のいろいろ 文法（解説）３ 付属語のいろいろ	2	●付属語にはどのようなものがあるのかを知る。	助詞や助動詞などのはたらきについて理解を深めている。		助詞・助動詞に興味・関心を抱き，助詞・助動詞のはたらきを理解し，その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして，適切に表現・理解しようとしている。
豚	1	●詩の構成や展開を踏まえ，詩の世界を豊かに想像する。	抽象的な概念を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ，自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで内容を解釈し，学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

書初め	3	●書き初めを書く「生命の尊重」「伝統の継承」 行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	行書と仮名の筆使いや字形，文字の大きさなどを理解している。 行書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 筆使いや字形，文字の大きさなどを理解して，調和よく書くことを把握している。行書と仮名の筆使いや字形を理解して，配列を整えて書いている。	紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を考えている。 紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を的確に捉えている。	行書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。 自己の課題を設定し，その解決に向けて取り組んでいる。
走れメロス	7	●抽象的な概念を表す語句の量を増やし，自分の表現に役立てる。 ●人称の変化に着目し，人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。 ●登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し，自分の考えを深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ，自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで登場人物の設定の仕方を考え，学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。
行書と仮名を調和させて書いてみよう	1	●書く速さを意識して書く ─行書と仮名の調和─『走れメロス』 行書と行書に調和する仮名の書き方を理解して、速く書くことを意識することができる。	行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し，速く書くことを理解している。 行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し，速く書いている。 行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し，速く書くことを理解し，調和よく書くことを把握している。行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し，字形を整えて速く書いている。	行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得し，速く書くことを考えている。 紙面全体の調和を考えて，文字の大きさ，行の中心，余白の取り方などを意識している。	行書と行書に調和する仮名の筆使いを習得しようとし，速く書くことを意識している。 行書と行書に調和する仮名の筆使いにおける自己の課題を設定し，解決を図ろうとしている。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

行書と仮名を調和させて書いてみよう	2	●学習を生かして書く－行書と仮名の調和と配列─『枕草子』『平家物語』 行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。	行書と仮名の調和や配列を理解している。行書と仮名の調和や配列を理解して書いている。 行書と仮名の調和や配列を理解し，調和よく書くことを把握している。 行書と仮名の調和と配列を理解して，字形を整えて書いている。	行書と仮名の調和や配列を考えている。 行書と仮名の調和や配列を考え，適切に捉えている。	国語の古典での書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。 国語の古典における文章について，形式を整えて書こうとしている。
類義語・対義語・多義語・同音語 言葉（解説）３ 類義語・対義語・多義語・同音語	1	●日常の生活で使う言葉を，いつもと違った視点から捉え直す。	類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。		粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し，学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
学習活動や日常生活に生かして書こう	1	1 さまざまな書く場面 目的や必要に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか，話し合うことができる。	【B】目的や必要に応じて楷書や行書を選ぶことや，配列の整え方について理解している。 【A】目的や必要に応じて楷書や行書を選ぶことや，配列の整え方について，よく理解してい	【B】目的や必要に応じた形式や用具について考えている。 【A】目的や必要に応じた形式や用具について，日常生活との関連を話し合うことができる。	【B】目的や必要に応じた書き方について，自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】目的や必要に応じた書き方について，自己の課題解決に向けて積極的に取り組んでい
「連作ショートショート」を書く	5	●表現したい内容に合った言葉を選び，語彙を豊かにする。 ●物語の構成や展開を意識して書き，表現の工夫や効果について考える。	類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において，表現の工夫とその効果などについて，読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	積極的に表現の効果を考えて，学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
漢字の広場４ 同音の漢字	1	●同音の漢字についての理解を深める。	同音異義語などについて理解し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。		すすんで同音の漢字について理解を深め，今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

令和6年度　評価規準

江戸川区立松江第四中学校

学習活動や日常生活に生かして書こう	2	●新聞・掲示物・案内状を書く文字の大きさや配列を理解して，読みやすく書くことができる。 目的や必要に応じて，効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。	さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解している。 さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解して書いている。 さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列，字形を整えて読みやすく書くことを把握している。さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解して，字形を整えて読みやすく書いている。	さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について考えている。 目的に応じたさまざまな形式や用具を考え，日常生活との関連を意識している。	さまざまな形式に合わせた配列を考え，漢字と仮名の調和に習熟しようとしている。 目的に応じたさまざまな書式を考え，読みやすく書こうとしている。